

都民



都内版編集室 〒100-8055
千代田区大手町1の7の1
読売新聞東京本社内
電話 03(3217)1465・1466
FAX 03(3217)1468
tomin@yomiuri.com
江東支局 電話03(3631)6116
武蔵野支局 電話0422(51)3131
立川支局 電話042(523)4477
ホームページ
http://www.yomiuri.co.jp/local/

購読は
0120-4343-81

【広告】読売エージェンシー 03(5226)9925
【折込チラシ】 0120-03-4343
【読売旅行】 03(5550)0666

3月21日(月曜日)
旧 2月13日<友引>

■ **あすの暦**

通日 81
月齢 12.0 (正午)

東京標準
満潮 4.18
16.03
干潮 10.09
22.19 (中潮)

日出	5.43
日入	17.54
日出	15.55
月入	4.21



地元食材をPRしながら販売する岩手県大槌町の高校生たち(19日、港区で)＝小峰翔撮影

三陸の幸 高2売り込む 港区・アークヒルズ 被災大槌の14人

東日本大震災で被災した岩手県大槌町の高校2年生ら14人が19日、港区のアークヒルズで、地元食材を販売する1日限りの店を開いた。仕入れから接客まで体験することで、課題を解決する力を養ってもらうと、NPO法人「放課後NPOアフタースクール」が企画。生徒たちは、宣伝文句や商品の選び方を工夫して黒字を目指した。

松の葉に似た高級食材の海藻マツモ、サケのフレーク、ホタテ味のラスク。店の棚には、三陸産の海産物を使った食材が並ぶ。「フライパンでさっとあぶって食べるとおいしいですよ。みそ

汁もいけます」。薦められてマツモを購入した港区の主婦鈴木淑恵さん(61)は「商品表示が見やすいし、対応も丁寧で明るい」と話した。生徒たちはこの日に備え、NPO職員の助言を得ながら「小売りとは何か」を勉強したり、収支計画を立てたりしてきた。今月上旬には地元の商店を相手に値段を交渉し、商品を仕入れた。ラインアップに気を配ったのは、県立大槌高校の岩間こゆきさん(17)。酒のつまみに合う海産物だけでなく、高齢者や子どもが喜びそうな菓子もそろえた。1箱7個入りのモナカを見て「数が多い」と感想を漏らした客がいると、すかさずバラ売りに踏み切るなど、柔軟に対応していた。同校の鈴木瑠衣斗さん(17)は「被災しても製造を続けた作り手の思いも伝えられたらうれしい」と話していた。

港区議会が会場 23日コンサート

港区議会の議場を会場にして、気軽にクラシック音楽に触れてもらうコンサートが23日、区などの主催で開かれる。区内の音楽愛好家が腕をふるう場を提供するのも目的で、議場を使うのは同区では初めて。区内を活動拠点にしている弦楽合奏団「アンサンブル・ミナト」が、「ディベルティメント」「モーツァルト」「主要人の望みの喜びよ」(バッハ)などを演奏する予定。開演は午前11時半で、開演は午後0時15分。区長らのあいさつ後、演奏が始まる。会場は区役所本庁舎に隣接する議会棟5階。入場無料で、定員は約100人。区長席と議員席からも演奏を楽しめるという。問い合わせは、区地域振興課(03・3578・2343)へ。

宅配食・通販食を 探すなら

- 無料で資料請求できます。
- ・ 食生活が気になる
 - ・ 病気療養中
 - ・ 食事介助が必要

TEL 0120-65-9981 AM10:00-PM5:30 (土日祭・年末年始を除く)

1杯300円でワイ回れる「ワールドワイ宿」が27日正午午後区新宿3の飲食店など

昨年9月に続く2回作家や役者らが集ってんだという新宿3丁目か、今回は周辺の飲食イタリアンやおしゃれにチャージ無料で入来場者は、チケット500円、当日2000入すれば、世界各国の

写真家秋山武雄さん

「今はなき風情」講演

読売新聞都内版で「懐し写真館」を連載中の写真家・秋山武雄さん(78)が日、台東区柳橋で「もっ知ろう東京下町!」と題



盆踊りの写真を映しながら解する秋山さん(左)(19日)